

【ジョマクノギ】 あらすじ

絶え間なく落ち続ける滝。それはあたかも巨大な水時計のよう。滝を見下ろす高台に城跡があり、そこにかつての城主の末裔たちが石碑を建立した。石碑の除幕式のため、一族が古びた宿に集合する。そこで起きたある事件。しかしそれは時の流れとともに人々の記憶の彼岸へと押し流される。

やがて、滝と城跡を結ぶ遊歩道が完成した。そしてまた次の世代の末裔がこの宿を訪れる。